



380年以上の歴史と伝統を誇る

村上大祭

〔国指定重要無形民俗文化財〕

村上大祭は、江戸時代から村上城下で行われてきた祭礼行事で、西奈彌羽黒神社の例大祭です。

7月6日に宵祭り、7日に本祭りが行われ、村上の伝統産業である彫刻や漆塗りを施し、金箔、銀箔で装飾された絢爛豪華なおしゃぎり屋台19台が市内を練り歩きます。

毎年、この祭りを一目見ようと

多くの観光客が村上市を訪れ、

町中が祭りの熱気に包まれます。

市町村紹介コーナー

村上市

〔下越エリア〕

CONTENTS

| 特集 | 02 市町村紹介コーナー 村上市 04 発注者支援事業紹介 05 技術セミナーのご案内
| センターINDEX | 06 新採用職員紹介 07 雪のことば・雪のころ 08 編集後記





村上市のプロフィール(令和元年6月1日現在)

面積 / 1,174.26km²
 人口 / 59,686人
 世帯数 / 22,769世帯
<http://www.city.murakami.lg.jp/>



「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上」を目指して

村上市は、新潟県の北端に位置し山形県と境を接しており、近傍には新発田市、胎内市、関川村、粟島浦村、また中心市街地から約70km圏内には新潟市および山形県鶴岡市があり、経済圏の一部として交流があります。面積は新潟県の総面積のおよそ9.3%を占めており、約50kmにもおよぶ海岸線を有しています。また、西には日本海を望み、北から東にかけては国立公園である飯豊・朝日山系の美しい山々を仰ぎ、そこを源とする荒川や三面川などの清流が流れる自然豊かなまちであり、先人たちが築いた長い歴史と文化は市民の誇る財産です。

市では、市民の皆さん一人ひとりが幸せや自信を実感できるようなまちにしていきたいために「笑顔のまち村上」を市の将来像に掲げ、市民の皆さんと共に歩んでいきます。



TOPICS

今年の夏は笹川流れで日本海を満喫してみませんか？



国の名勝天然記念物(県立自然公園)に指定されている笹川流れは、村上市浜新保(鳥越山)から寒川(狐崎)にいたる約11km区間の海岸を指し、透き通る海と合わせて、変化に富む美しい景観を形成しています。これは荒波による激しい浸蝕作用によるもので、奇岩、孤島、洞窟などの奇観がおりなされ、特有の風致をみせています。

春はドライブ、夏は海水浴やキャンプ、そして冬は迫力ある荒波や波の花など四季折々の魅力を持ち、一度訪れたら素晴らしい風景のとりこになること請け合いです。



村上市観光キャラクター
「サケリン」

国内最大規模の屋内スケートボード施設

村上市スケートパーク



所在地: 村上市瀬波温泉三丁目2番22号 開館時間: 午前9時～午後9時 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)
問い合わせ: 村上市生涯学習課スポーツ推進室 ☎0254-53-8802

4月27日にオープンした村上市スケートパークは、国際競技ができるレベルのセクション(競技設備)を有するスケートボード施設であり、これまで選手育成を行ってきたスケートボード団体などの協力を得ながら、オリンピックを目指すジュニア選手の育成を年少期から行うことで、県内外から有力選手が集う拠点となることを目指しています。

また、市では隣接する温泉宿泊施設や市内観光を組み合わせた日本有数のスケートボードの聖地となるまちを目指し、交流人口の拡大や地域活性化などを推進していきます。

- 敷地面積 約17,300㎡
- 延床面積 約2,669㎡
- 構造 木造一部鉄筋コンクリート造 ※構造材の一部にCLTを使用
- 駐車場 約130台
- 観客席 290席(2階)
- 運動設備 [1階]アリーナ(パーク・ストリート)、ボルダリング
[2階]スラックライン、トレーニングマシン、ランニングコース(1周約170m)



セクション(競技設備)は「パーク」と「ストリート」があり、スケートパーク設計で世界最高峰といわれている米国のカリフォルニアスケートパーク社の監修による設計・施工で、全面コンクリート製。

<ストリート>

さまざまなレベルの競技者が楽しめる規模と難易度。

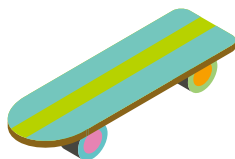


<パーク>

世界最高峰「ヴァンズ・ツアー」と同様の難易度。高さは約1m80cm～約3m。



1階 アリーナ(30m×50m)



5月10日～12日に行われた

「木下グループpresents 第3回 日本スケートボード選手権大会(JRSF主催)」の様子



▲駐車場でのパブリックビューイング



▲迫力満点の競技(パーク決勝)



▲競技を観覧する人々

発注者支援事業紹介



(国)345号 芦谷落石対策(5工区下部)工事

工事概要

芦谷地区の山地の西側は、日本海に接する海岸線を形成しており、海岸線に沿って一般国道345号とJR羽越本線が並走して通っている。海岸線背後の山地は急斜面になっており、脚部では日本海の風浪による浸食を受けて、随所で海食崖や海食台など岩石海岸特有の地形が形成されている。当工事は、落石が発生する恐れのあるモルタル吹付工全体を面的に保護し、崩落する落石エネルギーを増大させずに吸収しながら道路に達するまでに止める対策工法としてRCネットを設置する工事です。

工事内容

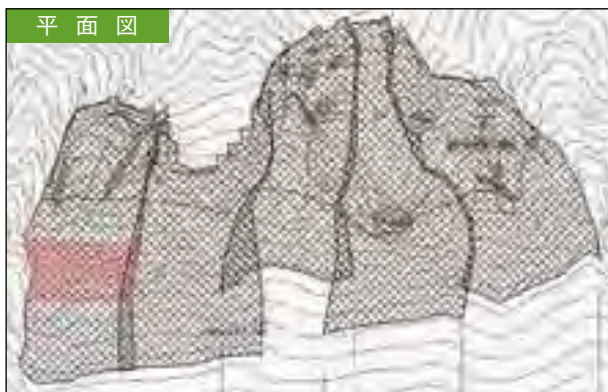


- 工事名** 平成30年度 補防災公 第0101-10-00-01号
(国)345号 芦谷落石対策(5工区下部)工事
- 工期** 平成30年10月～平成31年3月
- 発注者** 新潟県村上地域振興局 地域整備部 維持管理課
- 工事内容** 覆式RCロックネット工 1,140㎡
ロックアンカー-自穿孔 L=4.0m 24本 L=2.0m 97本

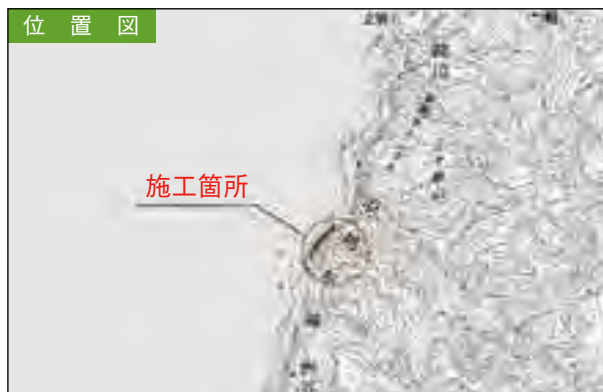
着手前



平面図



位置図



竣工



立会状況



管理技術者 から一言

管理技術者 牧 秀紀

当工事は供用している国道上において落石対策として鉄製のワイヤーとネットを設置する工事でした。高低差のある急勾配での法面作業であり、安全面でも体力面でも厳しい現場となりましたが、施工業者の安全管理もしっかり行われており、無事竣工を迎えることができました。また、県境に近い現場であり、移動に時間を要するために通常よりも監督員・施工業者との連絡を密に行うことで、円滑な施工管理業務を行うことができました。今後も、発注者支援業務を通して地域の安全・安心の確保と地域社会の発展に寄与していきたいと思っております。

技 術 セ ミ ナ ー



1. 技術セミナーとは

当センターでは、公益活動の一環としてコンクリートに特化した無料の「技術セミナー」を平成23年度から毎年度、継続して開催しています。

本セミナーでは、コンクリート構造物の設計や施工現場に携わっている経験豊富な講師を県内外からお招きし、コンクリートに関する専門的な知識や最新技術を解りやすくお伝えしています。また、セミナーを通じて先人たちが築き上げてきた雪国新潟ならではの技術や知恵と工夫を振り返り、現役技術者をはじめ、これからを担う若手技術者へ継承していくと共に、地域社会の未来に繋がるコンクリート技術のあるべき姿を毎回、テーマとして解説しています。

2. セミナー実績(過去5年)

年度	実施月日	会 場	テーマ
H26	H26.11.6(木)	新潟会場	新潟地震50年コンクリート構造物の耐震技術を中心に
	H26.11.7(金)	上越会場	
H27	H27.11.9(月)	新潟会場	地域活性化に向けたコンクリート技術を探る
	H27.11.10(火)	長岡会場	
H28	H28.11.1(火)	上越会場	新潟発コンクリート構造物の長寿命化に向けて
	H28.11.2(水)	新潟会場	
H29	H29.11.29(水)	新潟会場	新潟発コンクリート構造物のひび割れ抑制と品質確保に向けて
	H29.11.30(木)	長岡会場	
H30	H30.11.5(月)	新潟会場	新潟発コンクリート技術の未来に向けて
	H30.11.6(火)	上越会場	

3. 本年度セミナー開催予定

年度	実施月日	会 場	詳 細	認定プログラム
R1	R1.11 上旬	新潟会場	R1.10上旬、当センターHPで公開します。	CPDS・CPD
	R1.11 上旬	長岡会場		



≡ 新採用職員紹介 ≡



平成31年4月に新採用となりました。技術第2課技術第1係に配属され、市町村の発注者支援業務を担当しています。

高校で学んできた土木の内容よりも、さらに専門的な知識を学んでいます。難しい内容もありますが、先輩職員の皆様のご指導のもと、毎日楽しさとやりがいを感じながら多くの知識を学んでいます。先輩職員の皆様を見習い、業務に励んでいきたいです。

一人暮らしにも少しずつ慣れ、休日は好きなアーティストのライブに行ったり、ショッピングなどを楽しんでいます。また、新潟のさまざまな地域についても学んでいきたいと思っています。

まだ分からないことが多くありますが、1日でも早く皆様にセンターの職員として信用・信頼していただけるように日々の努力を続けて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

技術部 技術第2課 技術第1係 西條 愛菜



平成31年4月に採用となりました、高橋かほりと申します。現在は総務部にて庶務業務を行っております。全てがーからのスタートですが、優しい先輩職員の方々からのご指導の下、一つずつ着実に業務を覚えていくようにしています。これからセンターの職員として、新潟の地域社会に貢献していけるよう自分にできることを少しずつ増やしていきたいと思っています。

また、旅行や映画鑑賞が好きなので、趣味を大切にしながらメリハリをつけて仕事に打ち込んでいけたらと考えています。

まだまだ分からないことも多いですが、多くのことを吸収して一日でも早く信用・信頼される職員になれるよう、初心の気持ちを忘れずに日々精進して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

総務部 総務課 庶務係 高橋 かほり



平成31年4月に新採用になり、技術第1課技術第1係に配属となりました。新潟県発注工場の現場技術業務を担当しています。高校では主に土木関係の勉強を学んできました。当然、学んできたことが全てが仕事に通用するわけもなく日々、勉強に取り組んでおります。

入社してから数ヶ月がたちますが、今でも学生と社会人の違いの差に驚いています。社会人になるということは、責任を持つことだと思っています。何事も一人で考えずに困ったら先輩に相談をして成長していきたいです。

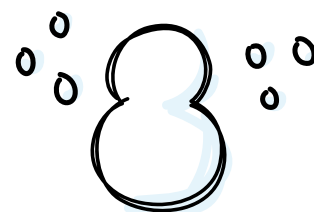
最近は友人と一緒に新潟の町を散歩することが趣味で、休みの日は、しっかりと疲れをとるようにしています。

長い道のりがありますが、先輩方からの教えをしっかりと学び少しでも早く業務を覚え、一人前の技術者になれるよう頑張っていきたいと思っています。

技術部 技術第1課 技術第1係 阿部 史也



雪のことは・雪のころ



気象災害軽減イノベーションハブの活動

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

防災科学技術研究所は2016年から気象災害軽減イノベーションセンターを立ち上げ、情報を使う側の道路管理者や物流業者と、情報を作るセンサー開発、IT関連ならびに、防災科学技術研究所や大学等の研究者が集うコンソーシアムを活動の基本とするハブを形成してきました。そのハブの活動の一環として、道路雪氷勉強会を長岡市でも開催してきました(図1)。



図1 道路雪氷勉強会

イノベーションハブ長岡サテライトの取り組みの中で、防災科学技術研究所雪氷防災研究センター研究員が道路雪氷勉強会のメンバーとの議論から生まれた技術として、消雪パイプの降雪センサーIoT化による降雪量分布の把握があります。これは、長岡市内にある地下水制御のための降雪センサーに通信機器を取り付けて多数で観測したデータを集約することにより、降雪量の分布を詳細に把握する技術です。これによって雪の降り方は、予想よりも様ではないことがはじめてわかりました。アメダスやレーダーのデータから作成した降雪量分布よりもさらに詳細に分布が把握されることが検証されています(図2、3)。

この開発は長岡市内のセンサー開発業者、IT関連業者、長岡市、新潟県と情報を使う側と作る側が一緒になってなされました。

また、この情報は気象予測会社を通して、さらに地元ケーブルビジョンを用いて広くに展開されるようになっていきます(図4)。

今後もこのような地域のニーズとシーズを繋げる活動も継続したいと考えています。



図2 消雪パイプ降雪センサーIoT化により把握した降雪量分布

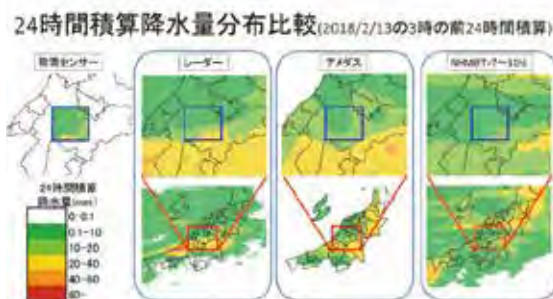


図3 24時間積算降水量分布比較

NCTのHPで詳細降雪気象情報を配信



図4 降雪量分布の地元ケーブルビジョンへの情報提供

特集

vol.10

新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

村上市の酒蔵

大洋酒造

伝統と先進の技で

本物の地酒をお届けします

私どもは地酒蔵ですから、まず地元の風土や食文化に育まれた味わいを守って行かなければなりません。その一方で清酒メーカーとして、新しいニーズに呼応できる柔軟な側面を備えている必要があると考えています。



代表取締役社長
村山 智



1.【純米大吟醸 大洋盛】「越淡麗」を極限まで精米し100%使用。当社の技術の粋を尽くした最高峰の純米大吟醸です。平成30年関東信越国税局酒類鑑評会 純米吟醸酒の部 最優秀賞受賞。2.【純米吟醸 大洋盛】「たかね錦」を使いじっくり丁寧に醸した純米吟醸酒です。程よい香りと、柔らかい口当たりが続く自然な米の旨味、さらりと消える後味が絶妙な調和を生み出します。3.【紫雲 大洋盛】 地元村上地域の酒販店でしか購入できない限定酒。地元の皆様に高品質なお酒をリーズナブルな価格で楽しんで頂きたいとの想いから開発しました。村上市で最も愛される酒の一つです。

大洋酒造の歴史は、地元の14の蔵元が法令により合併した時から始まります。1945年下越銘醸株式会社、酒名「越の魂(コシノタマ)」として発足し、5年後に現在の大洋酒造株式会社「大洋盛(タイヨウザカリ)」に改名しました。前身でもある合併前の蔵元には1635年創業の酒蔵が存在し、江戸時代に活躍した井原西鶴の「好色一代女」にも村上の酒に関する記述がある通り、古くから酒造りの盛んな土地であった事がうかがえます。

ひたすら美味しい酒を追求してきた当社は吟醸酒市販の草分け的存在としても知られており、関東信越国税局酒類鑑評会において18年連続入賞、平成30年には純米吟醸酒の部で全186点中の最高位「最優秀賞」受賞など、数多くの受賞歴を誇っています。

酒蔵の位置する新潟県の北端は良質な酒米の産地であり、恵まれた環境と原料、そして誇り高い伝統と匠の技により美酒が醸されています。また近年においては酒米の研究や社員総出による田植え稲刈りなども行っており、現在仕込みに使う酒米は「越淡麗」に代表される新潟県産米を100%使用しております。主な使用米は他に「たかね錦」「五百万石」など。

仕込みに使う水は磐梯朝日国立公園朝日連峰より発する地下水で、地下20mの自家井戸より汲み上げています。無機分の少ない軟水であり、それがきめ細かい酒の味に一役買ってくれています。

「料理との相性を考え、味や香りを極端に主張せず、自然のままに醸し出す。」これが大洋酒造の造りのコンセプトの中心であり、淡麗辛口が基本的な味わいとなっています。

伝統的な酒造りを重んじると同時に、花酵母を使った清酒や発泡性清酒の開発など革新的な酒造りにもチャレンジしており、これからも皆様に愛される酒造りに精進してまいります。



大洋酒造株式会社
〒958-0857
新潟県村上市飯野1-4-31
TEL. 0254-53-3145
URL. <http://www.taiyo-sake.co.jp/>

編集後記

いよいよ夏の到来を迎え、花火の音が聞こえる季節となりました。皆様の夏休みのご予定はお決まりでしょうか？この夏号では、村上市様からのご寄稿や大洋酒造様から新潟の地酒巡りなどをご紹介させていただきました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

さて、令和元年がスタートいたしました。令の言葉には、「信頼を寄せられる」という願いもあると言われております。私たちも今まで同様に「信用・信頼」をモットーに、地域の未来づくりをサポートしていきたいと思っております。今後とも温かいご支援、ご指導をいただければ幸いです。

編集委員 情報管理部 谷 佳裕子